

京都選抜だより

JOCジュニアオリンピックカップ
全国都道府県対抗
中学バレーボール大会

平成27年8月30日(日)

NO.1

29代 京都選抜スタート



	生徒氏名	身長	学校名
監督	伊藤 正樹		下京中学校
C	一谷 武志		小栗栖中学校
M	洞井 輝昌		洛水中学校
①	倉田 真	180	蜂ヶ岡中学校
2	中谷 太一	190	東宇治中学校
3	増田 宏人	183	藤森中学校
4	藤原 直人	182	蜂ヶ岡中学校
5	柴田 竜	180	小栗栖中学校
6	川上 魁士	178	下京中学校
7	堀 昭良	177	洛水中学校
8	坂本 拓馬	177	黄檗中学校
9	山元 大知	175	宇治中学校
10	二宮 一平	174	音羽中学校
11	藤原 涼	173	下京中学校
12	池田 弘樹	171	洛北中学校

激励金を頂きました！！

池西先生(宇治中)・島田先生(東宇治中)
山根先生(黄檗中)・安西先生(洛北中)
蒲田先生(蜂ヶ岡中)
中野先生(京都府ヤングバレー理事長)
京都府バレーボール協会
ありがとうございます。

選抜選手としての心構え

- ① 京都府の代表であることの自覚と責任を持った言動を心がけること。
→注目される存在である。
- ② 練習には意欲的に参加すること。
→無駄な時間を過ごさない。
- ③ 礼儀やマナーについては、特に気を付けること。
→人として当たり前。
- ④ 練習がない日に練習をしっかりとる。
→積極的に自校の部活動に参加し、自分で自分を鍛える。
- ⑤ 体調管理(食事・睡眠・生活習慣等)をしっかりとる。
→1人の体じゃない。チームの体。優れた技術も体力から。
- ⑥ なるべく休まずに参加する。
→何のための選抜なのか考える。
- ⑦ 受験生として学習も手を抜かず、進路実現に努めること。
→バレーボールは仲間が助けてくれるが、勉強は誰も助けてくれない。
- ⑧ この経験がこれからの人生にプラスになるように努めること。
→誰もが出来ない貴重な体験である。